

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

平成31年2月15日

松本地域振興局

提出区分	実績					
整理番号	8	課題区分	C			
実施機関	松本保健福祉事務所			担当課	所属	松本保健福祉事務所総務課
事業名	災害対応能力向上事業				電話	0263-40-1937
				E-mail	matsuho-somu@pref.nagano.lg.jp	
事業概要等	目的 (目指す姿)	災害時に円滑かつ速やかに医療活動を行うことができる連携体制の整備				
	現状と課題	松本地域を縦断する糸魚川-静岡構造線の地震発生確率が全国の主要活断層で最高(明科・茅野でM7.6程度の地震発生確率13~30%)となっており、災害時の医療等に関する対策が喫緊の課題である。				
	内容 (変更後の内容)	災害時の松本広域災害医療コーディネートチームと現地DMAT本部の連携を円滑に行うため、行政職員等を対象とした研修等を行う。(松本広域圏3市5村合同医療救護訓練検証会にあわせて実施)				
	事業期間	平成30年11月				
	成果目標 (成果指標)	松本広域災害医療コーディネートチームと現地DMAT本部との連携調整の課題を把握、改善策の検討を行い、災害対応能力の向上を図る				
事業費等	(単位:円)					
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考		
	研修の実施	講師謝礼	31,800			
合計			31,800			
事業実績・成果	事業実績		事業の成果		評価	
	松本広域災害医療コーディネートチームと現地DMAT本部の連携訓練を実施し、課題の検証を行った。(訓練:10/21,検証会11/27) ・出席者 3市5村、松本市医師会、塩筑医師会、安曇野市医師会、松本薬剤師会、信州大学医学部附属病院、相澤病院、松本広域消防局 ・検証内容 松本広域圏3市5村合同医療救護訓練における現地DMAT本部との連絡調整等に関する課題		訓練等により、以下のとおり課題等が判明した。 ・情報収集等の重複した活動がみられ、各主体の活動について理解・整理が必要 ・長野県防災情報システム及び広域災害医療情報システムを活用したクロノロジーの整理が必要		○ 期待以上 ● 期待どおり ○ やや下回る ○ 期待以下	
今後の方向性	今回判明した課題等を改善し、引き続き市町村本部医務班、松本広域災害医療コーディネートチーム、現地DMAT本部間の円滑な連携体制の構築を図る。					